

「地域共生社会の実現にむけて」



近年わが国では、急速に進む少子高齢化、核家族化、ライフスタイルの変化等に伴い、福祉課題が多様化・複雑化し、高齢者、障がい者、児童などに支援を提供する公的サービスを土台にしても、**「制度の狭間」**に対する支援の充実が、地域全体の課題といえます。

倉敷市においても、買い物や掃除、洗濯などの日常生活のちょっとした困りごとを抱えている人や、地域から孤立し必要な支援につながない人も少なくありません。

しかし、このような課題に対し、**興味関心**などもきっかけにし、**協力し合い**、**教え合い**、**共に生きる**というつながりが、新たな支え合い活動の種となり、私たちの地域を豊かにしています。

「支え手」「受け手」という関係性を超え、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人と資源が世代や分野を超えることで生まれる支え合いの取り組みは、「多くのきょう（興・協・教・共）」をきっかけとして、新たな芽を育ててくれているのです。

この「地域共生ガイドブック『きょうから明日へ』」は、生活支援コーディネーターが地域と関わるなかで出会った、地域共生の取り組みや活躍する実践者、関係機関等を紹介する情報をまとめたものです。本ガイドブックを通じて、地域の支え合い活動の充実に向けた取り組みのヒントを感じていただき、新たな明日への活動の架け橋になれば幸いです。

なお、本ガイドブック作成にあたり、事例の掲載及び取材にご理解・ご協力いただきました地域の皆様に、厚くお礼申し上げます。

